

第38回 読書感想画岩手県コンクール 要項

- 1 趣 旨 読書によって得た感動を絵画表現することを通して、児童生徒の読書力、表現力を養うとともに、読書活動の振興を図る。
- 2 主 催 岩手県学校図書館協議会 毎日新聞社盛岡支局
- 3 後 援 岩手県教育委員会 岩手県読書推進運動協議会 岩手県造形教育連盟
岩手県小学校教育研究会図画工作部会 岩手県中学校教育研究会美術部会
岩手県書店商業組合
- 4 作品提出要項（第38回読書感想画中央コンクールと同様）
 - (1) 応募資格 小学生・中学生・高校生（満20歳以下に限る（2005年4月2日以降に出生の者））
 - (2) 応募区分 4部8区分
 - ①小学校低学年の部（1・2・3学年）指定読書・自由読書
 - ②小学校高学年の部（4・5・6学年）指定読書・自由読書
 - ③中学校の部（全学年）指定読書・自由読書
 - ④高等学校の部（全学年）指定読書・自由読書
 - イ）指定読書
主催者が指定した図書の感想画。別添のとおりです。
 - ロ）自由読書
自由に選んだ図書（指定図書以外の図書で、海外で出版された図書・日本語以外の図書・教科書・副読本・読書会用テキスト類またはそれらに準ずるもの、および雑誌・付録は除く）の感想画
 - (3) 用紙・画材 用紙は厚みのあるものでなければ可。絵具は自由、版画やはり絵も可。
 - (4) 寸 法 36 cm×25 cm以上、55 cm×40 cm以下
 - (5) 注意事項
 - ①一人で指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できる。
 - ②作品は必ず在籍校に提出すること。
 - ③未発表作品であること。（他の類似のコンクールとの二重応募は認めない）
 - ④応募要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・ビデオ・DVD等の場面をまねたものは審査の対象としない。
 - ⑤(3)「用紙・画材」の項に記載したとおり「はり絵も可とする」が、立体など厚みのあるものを貼付した作品および破損しやすい作品は審査の対象としない。

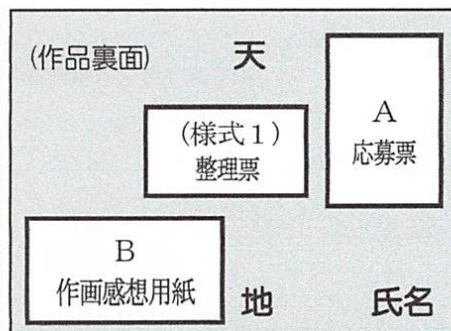
(6) 提出方法

- ① 作品の裏面に、応募票（応募書式A）、作画感想用紙（応募書式B）、整理票（様式1）を貼付すること。

※ 作品裏面に「氏名」「天」「地」を記入してください。

※ 作品の天地を応募票の貼付の向きで判断しますので、必ず向きを揃えてください。

- ・ **応募票（応募書式A）**（コピー可）：漏れなく記入し、作品裏面右上に貼付。未記入や記入に不備のある場合は、審査対象とならない場合がありますので、十分注意願います。
- ・ **作画感想用紙（応募書式B）**（コピー可）：200字以内。原則自筆。作品裏面左下に貼付。
- ・ **整理票（様式1）**：作品裏面中央に貼付。



- ② 整理票（様式1）、応募一覧表（様式2）、作品返却依頼状（様式3）を作成し、電子データ（エクセルファイルで。PDF 不可。）で送信すること。（岩手県SLA E-mail: info@iwater-sla.jp）
- ③ 紙媒体の応募一覧表（様式2）、作品返却依頼状（様式3）を作品に同封すること。
- ④ 作品の応募は丸めず平らな状態で送付すること。

※「応募票」「応募一覧表」の学校名・区分・部門・学年・氏名・題名の表記が完全に一致するようにしてください（漢字・平仮名・片仮名・符号・空白等）。入賞者公表前の各校への入賞者氏名等の確認は行わず、応募一覧表に基づいて、入賞者の発表および賞状の作成等を行います。応募一覧表の作成にあたっては、転記ミス・入力ミス・変換ミス等に十分ご注意ください。

(7) 作品返却

提出していただいた作品は中央コンクール応募作品を除きすべて返却します。返却方法は、直接引取または配送（着払）となりますので、作品返却依頼状（様式3）の希望の返却方法を記入し、提出願います。

- ① **直接引取** 引取期間については、審査結果公表後に該当校へ通知します。
- ② **配送（着払）** 『ゆうパック』の**着払伝票に必要事項を記入し、添付願います。送料は該当校の負担となります。**（ヤマト運輸では絵画作品の配送はできないので、『ゆうパック』のみの着払伝票の取扱いとさせていただきます。）
- 作品返却の際、入賞該当校については、返却作品と併せて賞状等も送付させていただきますことをご了承願います。

《着払伝票への記入事項》

お届け先	応募する学校の郵便番号、住所、学校名、電話番号
依頼主	〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27（盛岡市立向中野小学校内） 岩手県学校図書館協議会 読書感想画コンクール係 TEL 019-635-8510
品 名	絵画（読書感想画コンクール作品）

5 作品の応募可能数

- (1) 中学校、高等学校部門は、応募数の制限を設けない。
(2) 小学校部門は、以下の目安で応募するものとする。

ア 児童数 200 名を越える小学校

応募総数：学級数×2点程度（指定読書・自由読書とも別計算）

【例1】12学級×2点=24点程度 → 1～6年各4点 合計24点

【例2】12学級×2点=24点程度 → 1年8点、3年10点、6年8点 合計26点
(1～2点程度多めの応募も可)

イ 児童数 200 名以下の小学校

応募総数：学級数×3点程度（指定読書・自由読書とも別計算）

【例1】6学級×3点=18点程度 → 1～6年各3点 合計18点

【例2】6学級×3点=18点程度 → 1年6点、3年5点、6年8点 合計19点
(1～2点程度多めの応募も可)

ウ 全校6学級以下の小規模校で感想画コンクールに重点的に取り組んでいる小学校

応募総数：児童数の半数を上限として、上記イの規定を50%程度上回る応募数を許容する。

【例1】4学級×3点=12点程度 → 児童数60名で、合計12～18点

【例2】3学級×3点=9点程度 → 児童数30名で、合計9～14点

6 応募先

【提出】

①作品（作品裏面に、応募票（応募書式A）、作画感想用紙（応募書式B）、整理票（様式1）を貼付） ②応募一覧表（様式2） ③作品返却依頼状（様式3）

<送付先> 岩手県学校図書館協議会 読書感想画コンクール係

〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27（盛岡市立向中野小学校内）

TEL：019-635-8510 FAX：019-635-8512

【メール送信】※PDF 不可

①整理表（様式1） ②応募一覧表（様式2） ③作品返却依頼状（様式3）

<送信先> 岩手県学校図書館協議会 E-mail：info@iwate-sla.jp

7 応募締切 **令和8年12月4日（金）必着（作品及び電子データ）**

※12月5日以降の到着は、対象外となります。

8 審査

岩手県学校図書館協議会が委嘱する審査員により応募作品を審査する。

※ 応募する学校において必ず校内審査を行い、学校代表作品を選出し、応募すること。

※ 挿絵の模倣にならないよう留意すること。

9 入 賞 岩手県コンクールの各賞と人数は次のとおりとする。(中央コンクール募集要項の記載と一部違う部分があります)

部門 賞	小学校低学年		小学校高学年		中学校		高校		合計	
	指定	自由	指定	自由	指定	自由	指定	自由	指定	自由
最優秀賞	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	4~8	4~8
優 秀 賞	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	4~8	4~8
優 良 賞	2	2	2	2	4		4		16	
奨 励 賞	2	2	2	2	4		4		16	
合 計	6~8	6~8	6~8	6~8	12~16		12~16		48~64	

※ 上の賞に漏れた全応募作品を佳作入賞とする。

※ 学校賞は最優秀賞を受賞した児童生徒が所属する学校に授与する。

※ 入賞の通知は、令和9年1月上旬までに当該校に通知するとともに、岩手県学校図書館協議会公式ホームページ上に公開する。

10 表 彰 賞状の発送を以って表彰に代えさせていただきます。(表彰式は行いません)

11 問い合わせ先 岩手県学校図書館協議会 (岩手県S L A)
読書感想画コンクール係 担当：和美 智教

〒020-0851 盛岡市向中野 2-39-27 (盛岡市立向中野小学校内)

TEL : 019-635-8510 FAX : 019-635-8512

E-mail : info@iwate-sla.jp

◇ 岩手県学校図書館協議会ホームページ <http://www.iwate-sla.jp>

**第38回読書感想画中央コンクール
指定図書**

【部外秘】

書名	著者名	出版者	定価 (本体価格)	I S B N
----	-----	-----	--------------	---------

小学校低学年の部

やまんばの12にんのおすめ	塩野米松 文 小沢さかえ 絵	農山漁村文化 協会	1,650円 (1,500円)	978-4-540-24119-2
ぼくらとモリボウのひみつの時間	実島なほ子 作 武田美穂 絵	ポプラ社	1,430円 (1,300円)	978-4-591-18767-8
そうだ、いいものつくってあげる！	アシュリー・スパイアーズ 作 なかがわちひろ 訳	絵本塾出版	1,980円 (1,800円)	978-4-86484-207-5
奄美の海は生きものいっぱい	松橋利光 写真 木元侑菜 文	新日本出版社	1,870円 (1,700円)	978-4-406-06876-5

小学校高学年の部

山の神の使い	最上一平 作 マメイケダ 絵	童心社	1,870円 (1,700円)	978-4-494-02091-1
魔法のつららペン：つららペンと氷の国	山崎ナオコ 作 アサバマリエ 絵	静山社	1,540円 (1,400円)	978-4-86389-957-5
こねずみくん、ききいっぱい！	ヘルダ・デ・プレーター 作 テー・チョンキン 絵 鶴木 桂 訳	徳間書店	1,980円 (1,800円)	978-4-19-866003-1
ランドリーの迷子たち	シャネル・ミラー 作・絵 ないとうふみこ 訳	ほるぷ出版	1,760円 (1,600円)	978-4-593-10549-6

中学校・高等学校の部

その糸を文字と成し	高野知宙 著	河出書房新社	1,980円 (1,800円)	978-4-309-03243-6
ツバメの親子はどこにいる	樫崎 茜 作 水谷有里 装画・挿絵	くもん出版	1,650円 (1,500円)	978-4-7743-3890-3
ビスケット	キム・ソンミ 著 矢島暁子 訳	飛鳥新社	1,650円 (1,500円)	978-4-86801-086-9
閉じこめられた「森の人」	ミッシェル・カダルスマン 著 村上利佳 訳	あすなろ書房	1,760円 (1,600円)	978-4-7515-3253-9
挑戦する田んぼ：生きものたちとお米を作る	安田弘法 著	岩波書店	1,595円 (1,450円)	978-4-00-027265-0

第 38 回読書感想画中央コンクール
《応募書式 A》

第 38 回読書感想画中央コンクール									
指 定		応 募 票					自 由		
感想画の題名									
対象図書 (読んだ本)	書 名								
	著者・編者・ 訳者・画家								
	シリーズ名・ 文庫名								
	発 行 所								
	発 行 年	年(初版発行年) 年)							
	定価・ 判型・ページ数	定価 (本体	円 (円)	判 型	タテ cm	ペ ジ 数	ページ		
応 募 者	(ふりがな) 学 校 名	() () 立 学校							
	学校所在地 (電話番号は市外 局番から記入 してください)	(〒 -) (Tel. - -)							
	(ふりがな) 氏 名	()							
	部・学年	小低・小高・中学・高校 (第 学年)						男	
	※高校のみ記入 生年月日・年齢	年 月 日生(歳)						女	
感想画制作に際し 参考にした資料の有無		1.有 ※参考にした資料名 (Webサイトの場合はURL) を具体的に記入してください						2.無	

※わかりやすく楷書で記入し、作品の裏面右上に貼付してください。
※指定読書は「指定」、自由読書は「自由」の文字を○でかこんでください。
※応募する部、性別も該当文字を○でかこんでください。
※応募票が不足のときは、これと同じものを作って貼付してください(コピー可)。
※記入もれは失格になる場合があります。もれのないように記入してください。
※応募票に記入された氏名・学校名・学年・感想画の題名・対象図書名は、毎日新聞社および
全国学校図書館協議会・都道府県市区町村学校図書館協議会の刊行物・Webサイト等で
公表することがあります。ご了承のうえ、ご記入ください。

インターネットダウンロード用
※本用紙は A4 用紙にプリントすることを前提に作成してあります

《応募書式B》

(切り取り線)

[illegible]
$$\begin{pmatrix} 10 \\ \times \\ 20 \end{pmatrix}$$

◎ 作画感想用紙 ◎

※読んだ本にという感動を得たのか、どういう思いでこの絵を描いたのか、作画に苦心した点などを、この用紙に二〇〇字以内にまとめて、作品の裏面左下に貼付してください。

(切り取り線)

インターネットダウンロード用

※本用紙は A4 用紙にプリントすることを前提に作成してあります



読書感想画コンクールに 対する指導に向けて

==小学校==

公益社団法人全国学校図書館協議会

読書感想画の指導では、読書指導に力を入れることはもちろんですが、自己表現力を育て、豊かな心を育み、絵を描きたいと思う場面をイメージさせることが大切です。

常に心のイメージトレーニングができて、自分なりの表現を楽しむ習慣が育っていると、読書感想画を描くことについての抵抗が少ないと思います。

自由読書における読書感想画の制作では、絵を描くための本選びから描画材や場面・構図決定まで、一人ひとりが楽しみながら取り組むとよいでしょう。

指定読書については、担任の読み聞かせから始めると取り組みやすくなるでしょう。指定図書を子どもたちに紹介し、読後に絵を描いてみたい本はどれかなという投げかけをして、子どもたちに興味・関心を促す工夫も考えられます。

読書感想画 指導の手順

①読み聞かせの後、感想を話し合う

登場人物の行動を友だちどうして演じて遊んだり、続きを創作したりして本を身近なものにさせるなど工夫してみましょう

②各自で本を読み、描きたい場面やイメージの下絵、スケッチを描く

鉛筆だけでなく、割り箸ペンやスケッチペン、クレヨンなど好きな画材で自由に描くとよりイメージが広がります。イメージを言葉で表現する、キーワード化してもいいでしょう。一人ひとりのイメージが消えないよう配慮し、さらに思いが膨らむように、自分と対話する時間を設けることも効果的です。また、イメージは浮かんだけれど、思うように描けない子どもには、そのわけを聞いて描き始めるような手立てを考えましょう

③構図や下絵がまとまったら、楽しい色使いで彩色する

児童それぞれの色使いを意識しながら、その子なりの思いで彩色します。スタンプングやコラージュ等のいろいろな技法を紹介することで、自分の思いをどの技法であればうまく表現できるか、適宜声をかけながら制作させていきましょう

④作品を鑑賞し合う（見せ合う）

制作途中で互いの作品を鑑賞し、よいところを褒めたりもっと工夫したらよいところを励まし合ったりすることで、より意欲的に制作に取り組む姿勢が見られます。また、友だちの作品のよさを知ること、自分の表現に生かし、さらに取り組もうとする意欲をもたせることにつながります

⑤作品を完成させる

本と向き合い、自分と対話し、思いを表現する喜びを感じさせましょう。作品制作をとおして、一生懸命に時間をかけて描いた満足感や達成感を味わわせましょう

以上のような指導をとおして教師は、子どもの感動、喜び、驚きなどに共感し、豊かな感性を見つめ、子どもが楽しんで読書感想画を描く心を育てることが大切です。その一助として読書への関心を高め、豊かな人間性を培っていききたいものです。

==中学校・高等学校==



「読書感想画」とは、読書を通じて得た感動を、その生徒なりのイメージをもとに「絵画」として表現することです。素晴らしい読書体験から得たさまざまな感動や印象、イメージの広がり、思考の深まりなどをもとに自分だけの絵画世界をつくり上げていくことで、より深い読書体験を得ることになります。生徒の読書活動をより推進させるためにも積極的に取り組みましょう。たとえ一人からの応募であっても可能ですので、図書館担当、国語科担当、美術科担当の教師、部活動顧問らが互いに協力し合って、「読書感想画」の制作を生徒に勧めてください。

読書感想画 指導前の Check Point

- ☐ 応募のポスターを掲示しましょう
- ☐ 指定図書を購入しましょう。できれば全部読んで自分に合った本を選ぶようにしましょう
- ☐ どの本で感想画を描くか、本と向き合い、考えさせる時間を取りましょう
- ☐ 授業でも個人でも応募できる体制を整えましょう
- ☐ 美術科担当の教師へ理解と協力を求めましょう
- ☐ 生徒の表現方法にあった用紙・画材を準備しましょう
- ☐ 過去の受賞作品を鑑賞し、「読書感想画」を描こうという意欲を持たせましょう

読書感想画 指導の Point

- 十分に本を読み込み、自身と対話する、深まりのある読書活動がベースとなります
- 美術科担当の教師にも協力を求め、自分の思いや考えがどうすれば表現できるか、イメージを絵や言葉（キーワード）で表現し、イメージスケッチをもとに構図を工夫するなど、下絵の段階でよく練りましょう
- 生徒の思いや考えを表現するのに適切な大きさや材質の紙を用意し、さまざまな画材の特質や絵画技法を紹介し、表現方法を工夫しましょう
- 本を選んだ理由や描いてみたい場面イメージや構図を話し合い、交流させるとより自分のイメージが具体化するでしょう
- 本の挿絵や表紙の絵、ポスター、映画、マンガ等の場면을真似ていないか、生徒オリジナルの作品となるよう、著作権へも配慮しましょう
- 着色や仕上げの各段階でも、美術科担当の教師に協力を得られる時間を設けましょう
- 自分の思いやこだわりが伝わる作画感想となるよう工夫させましょう

基本は、生徒に制作のための時間を与えることと、困ったときに相談にのることのできる体制を学校としてとることが大切です。深まりのある読書があって初めて魅力ある読書感想画が誕生します。美術科担当教師の協力が得られない場合でも、生徒が制作をしている途中段階で絵を見ながら、じっくりと生徒と話しして褒め、励ましていくことが大切です。

なお、詳しい指導の手引きとして、当会より『読書感想画の指導』（税込価格 2,776 円）を刊行しています。参考図書として活用してください。



応募一覧表（様式 2）の記入のしかた（各学校用）

応募一覧表（様式 2）は各学校から岩手県 S L A に提出するものです。

※ 応募一覧表（様式 2）を、①応募作品と一緒に送付するとともに、②電子データ（エクセルファイルで。PDF 不可。）をメールで送信してください。（岩手県 S L A E-mail : info@iwate-sla.jp）

- * ①の「本校の応募者総数は_____名、応募作品総数は_____点です。」の欄は、校内でこのコンクールに応募したすべての児童または生徒数、応募したすべての作品数を記入してください。一覧表に記入する学校代表作品の数ではないのでご注意ください。
たとえば、学校内の全学級の児童生徒 200 名が各々 1 点応募（学校に作品を提出）した場合、応募者総数 200 名、応募作品総数 200 点と記入することになります。
- * ②の「審査会への送付作品は下記のとおり合計_____点です。」には、学校から岩手県 S L A に送付する代表作品の合計点数を記入してください。一覧表に記入する児童生徒の合計数です。小学校の場合は、低学年と高学年の両方の部をあわせた数になります。
- * 「部」の欄には、学校から岩手県 S L A に出す代表作品の小低、小高、中学、高校の別を選択してください。
 - 小低・・・小学校 1・2・3 学年
 - 小高・・・小学校 4・5・6 学年
 - 中学・・・中学校全学年
 - 高校・・・全日制・定時制・通信制の全学年（ただし 20 歳以下）※特別支援学校はそれぞれの対応する部、中等教育学校の前期課程は中学校の部、後期課程は高等学校の部としてください。
- * 学校代表作品を、指定読書（主催者の指定した図書の感想画）と自由読書（自由に選んだ図書の感想画）の区分ごと、学年順に記入してください。